

兵庫県におけるオモナガコミズムシの採集例

大生唯統・安原璃空

オモナガコミズムシ *Sigara bellula* はミズムシ科ミズムシ属の 1 種で、日本産の本属の中では、雄の頭部が前方に大きく突出する点で他種と容易に区別できる種である。分布は局所的で福島以南から知られるが（中島ほか, 2020）、兵庫県における記録はないと思われる。筆者らは 2 地点において本種を採集したので報告する。

記録

1 ♂, 兵庫県加古川市志方町大宗, 16. IV. 2023 安原璃空 採集。

ヨシやカヤツリグサ科などの抽水植物が繁茂している浅いため池で得られた(図 2)。周辺は水田環境である。

1 ♂, 兵庫県美方郡新温泉町丹土, 23. VII. 2020 大生唯統 採集・保管 (図 1)。

但馬牧場公園で実施した昆虫観察会の際のライトトラップに飛来した。当地はススキ草原であるため、周辺の水域から飛来したと考えられる。

隣接する岡山県では本種が急速に分布拡大していることが指摘されており（江木, 2022）、今回、兵庫県で

も突如、低地と山地から確認され、同様の傾向である可能性があるため、今後の動向に注意する必要がある。

引用文献

江木寿男, 2022. 岡山県における淡水底生動物の観察記録. 岡山県自然保護センター研究報告, 29: 68-119.

中島淳・林成多・石田和男・北野忠・吉富博之, 2020. ネイチャーガイド日本の水生昆虫. 243pp. 文一総合出版, 東京.

(Yuito OBAE 鳥取県鳥取市)

(Riku YASUHARA 兵庫県加古川市)



図 1. 兵庫県産オモナガコミズムシ



図 2. 採集環境 (加古川市)

兵庫県におけるヤシオオオサゾウムシの記録

神吉正雄・久保隆弘

侵入生物として知られるヤシオオオサゾウムシ *Rhynchophorus ferrugineus* を採集したので報告しておく。

ヤシオオオサゾウムシは東南アジア原産で、30 mm前後の大型のゾウムシ。頭部から背面が赤褐色に黒色の斑紋がある美しいゾウムシである。本州では 1998 年に宮崎県で発見され、西日本へ分布を拡大している。兵庫県では西宮市、尼崎市、神戸市、淡路島での記録がある。



図 1 川西市産ヤシオオオサゾウムシ